

第118回リニアドライブ技術委員会議事録(案)

日時：平成22年2月5日(金) 13:30~16:00

場所：JR東海 品川ビルA棟

出席者：委員長 脇若(信州大)

副委員長 北野(JR東海)

委員 小豆澤(東京都市大), 伊藤(日立製作所), 岩松(鉄道総研), 海老原(東横学園)
岡本(東海大), 森下(東芝), 矢野(産総研)

幹事 村井(JR東海), 水野(信州大)

幹事補佐 鳥居(東京都市大), 矢島(SMC)(記)

オブザーバ 渡邊(IEEJ)

提出資料

- 118-1 第117回リニアドライブ技術委員会議事録案(矢島幹事補佐)
- 118-2 リニアドライブ技術委員会名簿(矢島幹事補佐)
- 118-3 第96回(H21年度第4回)産業応用部門研究調査運営委員会 議題(脇若委員長)
- 118-4 産業応用部門の取扱う分野(脇若委員長)
- 118-5 モータドライブ技術委員会設置趣意書(脇若委員長)
- 118-6 本部表彰(脇若委員長)
- 118-7 平成22年度(H22年4月~H23年3月)活動計画(3次案)(脇若委員長)
- 118-8 平成22年度電気学会産業応用部門大会 オーガナイズドセッション提案のお願い(脇若委員長)
- 118-9 平成22年度電気学会産業応用部門大会 シンポジウムテーマ提案のお願い(脇若委員長)
- 118-10 リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会 設置趣意書(案2010年2月5日版)(渡邊殿)
- 118-11 委員会構成員変更届 MLV 竹本委員・栗田委員分(森下委員)
- 118-12 委員会構成員変更届 MDD 青柳委員分(矢野委員)
- 118-13 照会：リニアドライブ合同研究会日程について(北野副委員長)
- 118-14 2009年12月半導体電力変換・リニアドライブ合同研究会開催報告(森下委員)
- 118-15 リニアドライブ研究会(鳥居幹事補佐)
- 118-16 APSAEM2010 Announcement & Call for Papers(脇若委員長)
- 118-17 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会(MLV)活動報告(森下委員)
- 118-18 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会(MDD)活動報告(矢野委員)
- 118-19 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告(岡本委員)
- 118-20 第3回 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会 議事録(岡本委員)
- 118-21 ICEM2010 Special Session on MULTI-DEGREE-OF-FREEDOM ELECTRIC MACHINES AND DRIVES CALL FOR PAPER(矢野委員)

議事

1. 議事録確認

資料118-1を用いて議事録の確認が行われた。以下の2点を修正することで承認された。

- (1) 3.3内, 「LDIA 特集のような形で」を削除
- (2) 4.1内, 「電気学会支部連合研究会」→「電気学会東京支部連合研究会」

2. 名簿の確認

資料117-2を基に委員名簿の確認を行った。所属, 電話番号, メールアドレスの変更があった。

3. 報告事項

3.1 資料117-3を基に, 脇若委員長から12月15日に開催された第96回(H21年度第4回)産業応用部門研究調査運営委員会の内容に関して以下の報告があった。

- (1) 議題H21-C-2の運営委員会の運営に関する議論がかなりを占めた。設置趣意書・解散報告書はメール審議で議論されるようになり, 運営委員会ではあまり時間を割かれなくなった。
- (2) 産業応用部門の取扱う分野における各研究会の取扱う主な研究分野で, LD研究会は新たにリニア誘導モータと多次元・新世代アクチュエータを追加した。
- (3) モータドライブ技術委員会がSPCから独立し承認され, MDに略称が決まった。次年度の研究

会は SPC と共催となる。

- (4) ISS 技委から「技術の伝承・教育システム協同研究委員会」が設置された。特にリニアドライブは研究検討事項に入っておらず、LD 技委で設置準備中の「リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会」には問題はない。

上記(2)に関連し、LD 研究会の取扱う主な研究分野に「民生・医用」が抜けていると指摘があり、「(7)リニアドライブ応用技術」に追加することを確認した。さらに、「(3)磁気浮上」の () 内を(電磁吸引浮上・誘導反発浮上・永久磁石反発浮上)から(吸引浮上・反発浮上・磁気軸受)に変更する。

資料 118-5 の D 部門調査専門委員会 協同研究委員会設置状況(2008 年 10 月以降)において、MDD 委が協同研究委員会と誤って記載されていると指摘があり、脇若委員長から事務局に調査専門委員会に修正依頼する。

- 3.2 資料 118-6 を基に、脇若委員長から平成 21 年度の表彰に LD 技委では、本部表彰が 1 件(大阪大学)と部門表彰が 2 件(福島工業高等専門学校・慶応義塾大学)。
- 3.3 資料 118-7 を基に、脇若委員長から平成 22 年度 LD 技術委員会活動報告(3 次案)について説明があった。研究会の開催について下記の予定を確認した。
- 8 月: RM 技委と合同、東京支部と共催を検討中
- 10 月: MDD のみで東京(未定)、産業応用フォーラムの後でもよい
- 11 月: 仙台 (EDC) (CIR)
- 12 月: 大阪の予定
- 2 月: 静岡を検討
- 3.4 資料 118-11 を基に、森下委員から MLV 委の追加委員(竹本委員・栗田委員)の報告があった。
- 3.5 資料 118-12 を基に、矢野委員から MDD 委の追加委員(青柳委員)の報告があった。
- 3.6 資料 118-13 を基に、北野副委員長から LD 研究会を 2010 年 7 月 22 日・23 日に TER 技委と合同で山形で行うことが説明された。
- 3.7 資料 118-14 を基に、森下委員から 12 月 17 日 18 日に開催された LD 研究会の開催報告があった。
- 3.8 資料 118-15 を基に、鳥居幹事補佐から 2010 年 3 月 4 日・5 日に開催される LD 研究会の案内があった。
- 3.9 資料 118-16 を基に、脇若委員長から 2010 年 7 月にマレーシアで開催される APSAEM2010 の案内があった。

4. 審議事項

- 4.1 資料 118-8, 118-9 を基に、脇若委員長から平成 22 年電気学会産業応用部門大会のシンポジウム・オーガナイズドセッションの依頼が来ていると説明があった。矢野委員から MDD でシンポジウムの開催を予定していたが、平田委員の都合がつかず、産業応用フォーラムにしたいと提案があった。しかく、部門大会での発表はノルマであり、MDD でシンポジウムを行うことを確認した。脇若委員長から平田委員にシンポジウムを開催するよう依頼する。
- 4.2 資料 118-10 を基に、渡邊委員長からリニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会 設置趣意書について、調査する範囲を産業用・民生用とし、鉄道用は別にまとめたいと説明があり、賛成意見が出された。また、情報の窓口を広げたほうが良い、特許情報についても議論したい、制御・材料などの要素技術の委員を入れたほうがよい、などの意見が出た。再度、渡邊委員長が設置趣意書の内容を確認をし、提出する。メール審議の後、3 月 4 日の上部委員会で承認してもらい、4 月から発足する予定。
- 4.3 資料 118-18 を基に、矢野委員から多自由度の特別セッションを提案しようと検討していた ICEM2010 で、既に多自由度の特別セッションが設置されていると説明があった。特別セッションを提案せず、そのセッションに論文投稿することとなった。
- 4.4 資料 118-19 の ECD 委の活動報告の際、岡本委員から電気学会研究会資料について、学術論文検索システムで検索できない、講演のみで論文を提出しない場合発表の記録が残らない、などの問題が指摘され、以下の要望があった。
- (1) 研究会資料を学術論文検索システムから検索可能とする
- (2) 論文の提出はなく講演のみでも可とし、その場合も記録に残せるようにする
- 電気学会研究会資料は JST の JDREAM II で検索できるとの意見があったが、医学系では JDREAM II はあまり使われていないということであった。また、論文を提出しない場合でも、OHP を資料に載せることで記録に残るように対応することを、脇若委員長から電気学会事務局に確認するとともに

に、~~行って行くことになった。~~

- 4.5 小豆澤委員から、次回の電磁力関連のダイナミクスシンポジウムの参加費が機械学会会員のみ12,000円で他学会会員は16,000円になっていると説明があった。いままで電気学会会員と機械学会会員は同額であり、脇若委員長から同様の金額とするよう依頼する。また、~~次回の電磁力関連のダイナミクスシンポジウムのHPが使いづらいとの指摘もあった。~~
- 4.6 電磁力関連のダイナミクスシンポジウムの電気系委員長候補について、検討を始めることになった。~~脇若委員長から回転機の先生(かつAEM学会会員)に聞いてみることとなった。~~

5. 各調査専門委員会活動報告

資料 118-17~118-20 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

以上